



▲ 真っ赤なポピーは好きなモチーフのひとつ



▲ パプアニューギニアのマヌス島で、現地の子どもたちに折り紙を教える舩田さん



▲ 切るたびに断面の模様が変わるユニークな羊羹



創作意欲も湧かない時期でした。しかし、子どものころから憧れていた海外を訪れ「未来を絶たれた人がたくさんいる中、生きている自分は何ができることをやるべきだ」との思いを強くしたと言います。

そんな舩田さんの作品を新商品のパッケージに起用したのが、会津若松市の老舗和菓子店。1羽の鳥が月に向かって飛んでいくモチーフから生まれた「Fly Me to The Moon 羊羹」ファンタジア」は、舩田さんの描く世界と相まって、発売直後から女性を中心に大人気に。これをきっかけに、新たなオファーも舞い込むようになりました。

「福島県は心健やかに創作ができる場所。暗いニュースが多いですが、絵などを通して、明るいニュースを発信していきたいです」

舩田さんの思いは作品を通して、日本、そして世界へと羽ばたいています。

外から見た福島のイトココ教えます

ふくしま

二重マル

町の特産である桐の管理や生育状況の記録をしています

ふじたあきみ
藤田 旭美さん
(埼玉県出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。

第二回は、三島町役場産業建設課で桐専門員として活動する藤田さんです。

人と自然が元気な奥会津が大好き！

私が住んでいる三島町には、今も自然と密着した暮らしの知恵が息づいています。山の恵みも豊富で、休日はわらびの塩漬けなどの保存食作りや、山歩きに出かけたりして楽しんでいます。埼玉からここに来て、季節の変化をより敏感に感じるようになりました。

今後は、昨年認定された「福島県もりの案内人」の一人として、奥会津の貴重な自然を多くの人に伝えていくことが目標です。



桐がまっすぐ育つよう、芽かき(剪定)の作業中